平成２６年１１月１２日

訟務担当者ブロック研修（北海道・東北ブロック）レジュメ

１　最近の判決の動向

資料１　「労災行政事件訴訟の推移」を参照

平成２６年度１０月末　国敗訴１０件

（脳心３件、精神５件、石綿１件、高次脳機能障害１件）

○精神、脳心請求が高留まり、勝訴率は近年は脳心が若干高い。

○提訴件数は２５年度は３１件減少。今年度は上期で６２件請求あり。

○平成２６年度の敗訴事件をみると、精神事案は、個別の心理的負荷の評価が国の主張と異なったものが多く、脳心事案は、「異常な出来事」に該当する出来事があったと評価される一方、私的リスクファクターがほとんどみられないもの（２件）、また、時間外労働時間の認定が国の主張と異なったもの。

○地裁国勝訴、高裁期日１回結審（新たな証拠提出なし）での敗訴が２件あり。地裁と同じ証拠について異なる事実認定がなされた。

２　新件協議での留意点

（１）局検討会

ア　事案の概要把握（事件プリント、復命書等）

イ　原処分の問題点等の把握

ウ　資料に記載されていない事情

エ　未実施局

オ　署課長

（２）法務局協議

制度、事務処理経過の確実な理解（障害認定、事務処理流れ）

（３）新件協議

ア　局応訴方針

問題点の把握、立証方針の立案

イ　協議事項の例

（ア）どのような主張をし、そのためにやるべきことは何かを明確にする。

（イ）原処分の問題点を把握した上で、原処分の判断と訴状の原告の主張を見比べて、

①主張の相違点は何か、

②国、原告それぞれの主張の根拠は何か、

③国の主張の根拠で原告の根拠を否定できる証拠は揃っているか

（通常は不足）

④不足しているもの何か、

⑤④のために何をすべきか（追加調査、医師意見依頼、医学文献収集等）を検討。

（ウ）裁判所に原処分を適法と判断してもらうための主張・立証

①原処分、審査官段階（以下「原処分段階等」という。）で集めた既存の資料だけでは訴訟に対応できないこと、補充調査が必ず必要、という認識を持つ

②災害発生状況について、具体的なイメージを描ける程度の補充調査

③原処分庁段階等で徴した局医意見等では、２、３行の記載で結論に至った理由が記載されていないもの等の不十分なものが多く、裁判官に医師の判断の妥当性等の理解を得ることが難しい。

訴訟段階において受診歴及びその診療録を読み直し、既往歴の記録、原告が医師に話した内容等の証拠とできるものはないかを必ず確認し、その上で専門医にわかりやすい意見書を依頼すること。

④原告が会社と民事訴訟で争っているか必ず確認し、民事訴訟で出している資料等の入手に努めること。終結していた場合でも判決書を入手し、証拠とできるか確認すること。

⑤事実関係を主張する場合は、可能な限り具体的に主張すること。例：飲酒１日１合程度、のみではなく、1日焼酎1杯、350㎜缶ビール1本など。

⑥書証のみを提出しても、裁判官に意味が響かない場合もあるので、準備書面により国として当該書証から何が言えるのかを明らかにすること。

ウ　新件協議事項について

一度立てた方針は変更が難しい。応訴方針が最重要。

協議事項は、法務局指示、進行状況踏まえ、原則的には全て実施すること。訴訟の進行状況により方針を変える必要がある場合は、必ず、本省訟務官に協議。

（4） 新件協議で把握した原処分の問題点

ア 調査が不足しているもの

イ 治ゆの判断

ウ 障害等級の認定

エ 求償（民事）

オ 審査官

3 勝訴・敗訴要因の分析＋最近の判決例

（1） 勝訴・敗訴要因

資料２ 「勝訴・敗訴要因」

資料３ 「主要判決」 参照

（2） 最近の判決例

ア 東京高裁平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日判決（国逆転敗訴）確定（脳心）

〈事件概要〉

[redacted]

〈判決要旨〉

[redacted]

（敗訴要因）

[redacted]

イ　静岡地裁平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日判決（国敗訴）確定（脳心）

〈事件概要〉

[redacted]

〈判決要旨〉

[redacted]

（敗訴要因）

[redacted]

ウ　大阪地裁平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日判決（国勝訴）原告控訴（脳心）

〈事件概要〉

[redacted]

〈判決要旨〉

[redacted]

[redacted]

エ　二重就労者の給付基礎日額を争う事案

大阪地裁平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日判決（国勝訴）原告控訴

〈事件の概要〉

[redacted]

[redacted]

〈判決要旨〉

[redacted]

4　事実認定について

資料４「事実認定について」参照

5　訴訟を意識した原処分時の対応

資料５参照

6　訴訟対応上の留意事項

（1）　わかりやすい書面の作成

局課長（複数の者）による点検（わかりやすさ）

資料６　参照

法務資料

書籍抜粋（[redacted]）

[redacted]

（2）　法務局の準備書面修正内容の確認

制度の誤解をチェックするため。疑問点等あれば、局課長、監察官、本省訟務官に相談

（3）　訴訟の進行状況の把握（局管理者）

期日経過毎に主張を整理、争点把握、漏れの無い主張・立証

7　討議、情報交換

資料７，８参照

訟務担当者ブロック研修
（北海道・東北ブロック）
平成２６年１２月１２日

資料目次

労災行政事件訴訟の推移　資料　1

	判決結果				提訴件数	係争件数
	国側勝訴	国側敗訴	合　計	勝訴率		
平成16年度	62	6	68	91%	40	78
うち脳・心臓	10	4	14	71%	6	21
うち精神障害	1	1	2	50%	3	10
平成17年度	51	7	58	88%	89	128
うち脳・心臓	5	2	7	71%	21	37
うち精神障害	2	1	3	67%	22	28
平成18年度	66	17	83	80%	81	149
うち脳・心臓	19	7	26	73%	23	45
うち精神障害	3	6	9	33%	17	37
平成19年度	85	21	106	80%	93	174
うち脳・心臓	18	8	26	69%	24	52
うち精神障害	10	9	19	53%	17	41
平成20年度	113	18	131	86%	111	227
うち脳・心臓	26	10	36	72%	19	51
うち精神障害	23	4	27	85%	34	67
平成21年度	151	19	170	89%	126	265
うち脳・心臓	27	7	34	79%	20	50
うち精神障害	39	7	46	85%	37	80
平成22年度	149	23	172	87%	117	274
うち脳・心臓	23	5	28	82%	9	41
うち精神障害	41	9	50	82%	37	74
平成23年度	170	15	185	92%	137	306
うち脳・心臓	26	5	31	84%	13	36
うち精神障害	47	3	50	94%	35	75
平成24年度	208	22	230	90%	124	289
うち脳・心臓	27	2	29	93%	12	33
うち精神障害	55	9	64	86%	48	88
平成25年度	175	14	189	93%	93	256
うち脳・心臓	15	0	15	100%	13	38
うち精神障害	55	1	56	98%	35	88
平成26年度（10月末時点）	79	10	89	89%	62	256
うち脳・心臓	11	3	14	79%	10	35
うち精神障害	19	5	24	79%	19	95
合　計	1,309	172	1,481	89%	1,073	
うち脳・心臓	207	53	260	80%	170	
うち精神障害	295	55	350	84%	304	

※　上記件数には国家賠償請求事件等も含まれる

資料　2

訟務担当者ブロック研修　勝訴・敗訴要因（主要判決より）

○勝訴要因

1　補充調査による立証（複数の会社関係者等の聴取、実地調査による実態把握）

(1) 業務内容の調査・立証

[redacted]

(2) 労働時間の調査・立証

[redacted]

(3) パワハラ等の精神障害の事実関係の調査・立証

[redacted]

(4) 石綿ばく露作業状況の調査・立証

[redacted]

(5) 事故と負傷状況、療養状況の調査・立証

[redacted]

(6)労働者性の調査・立証

[redacted]

2　専門医による医学意見書等の提出

(1)医学意見書による立証

[redacted]

[redacted]

(2) 原告主張の医学的矛盾点を指摘

[redacted]

(3) 画像所見

[redacted]

3　医学文献提出

[redacted]

4　認定基準が定められていない疾病の業務起因性の判断は、一般原則としての相対的有力原因説によること

[redacted]

[redacted]

5　証拠精査（矛盾点等の発見）

[redacted]

6　資料作成等（証拠提出）

[redacted]

7　民事損害賠償事件の証拠の活用

[redacted]

8　尋問

[redacted]

9　鑑定申出

[redacted]

●敗訴要因

1　原処分、訴訟段階での検討・調査漏れ

(1)　複数の争点がある事件について、特定の争点（基礎疾患、個体側要因の強さ等）に係る主張・立証で十分勝訴できると考え、他の争点（出来事、業務内容の負荷の大きさ）について十分な主張(追加調査の実施)をしなかったもの

[redacted]

(2)　原処分で業務実態の詳細な把握がなされておらず、補充調査でも確認できなかったため、業務内容に基づいた過重性等の主張・立証（追加調査の実施）を十分できなかったもの

[redacted]

[redacted]

(3)　原処分、訴訟において事案の問題点を看過、主張不足

[redacted]

2　医学意見書による立証（補充）漏れ

[redacted]

3　医学意見書の内容不足等

[redacted]

[redacted]

4　原告の時期に遅れた主張（病名）の認容

[redacted]

5　訴状（請求の原因）の認否（答弁書）　石綿ばく露作業従事期間

[redacted]

資料　3

訟務担当者ブロック研修　主要判決目次

1　精神障害判決

（1）勝訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
1	平成■年■月■日 東京高裁 （確定）	■	出来事としての時間外労働 新認定基準の合理性
2	平成■年■月■日 岐阜地裁 平成■年■月■日 名古屋高裁 上告審係属中	■	発症前６か月より前からの長時間労働 上司の叱責（仕事上のミスに対する指導）
3	平成■年■月■日 大阪地裁 平成■年■月■日 大阪高裁 上告審係属中	■	上司によるいじめ・嫌がらせ
4	平成■年■月■日 東京地裁 平成■年■月■日 東京高裁 平成■年■月■日 最高裁（確定）	■	■からの暴行によるＰＴＳＤ 発病後の私的旅行
5	平成■年■月■日 大阪地裁 控訴審係属中	■	■の自殺 精神障害発病後の悪化
6	平成■年■月■日 最高裁（確定）	■	精神障害発病後の悪化

（２）敗訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
7	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪高裁	[redacted]	出来事後の恒常的な長時間労働 漏水調査・補修工事の過重性
8	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁	[redacted]	拘束時間 極度の長時間労働
9	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 新潟地裁	[redacted]	出来事が繰り返される場合の心理的負荷の評価期間 ノルマ未達成 叱責の繰り返し
10	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪高裁	[redacted]	退職の強要による心理的負荷
11	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 鳥取地裁	[redacted]	厳しい叱責
12	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 福井地裁	[redacted]	労働災害による入院生活 疼痛性障害
13	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪高裁	[redacted]	帰宅途中のひったくりによる心理的負荷
14	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 京都地裁	[redacted]	左示指の一部切断、適応障害

15	平成■年■月■日 東京高裁 （逆転敗訴）	[redacted]	労災請求の約12年前に発病した精神障害 [redacted]

2　脳・心臓疾患事案判決

（１）勝訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
16	平成■年■月■日 静岡地裁 平成■年■月■日（確定）	[redacted]	社員旅行の業務遂行性
17	平成■年■月■日 東京高裁 最高裁係属中	[redacted]	発症前６か月より前の過重性の評価 蓄積された疲労の解消 逆転勝訴
18	平成■年■月■日 神戸地裁 （確定）	[redacted]	発症前６か月より前の長時間労働 疲労の回復
19	平成■年■月■日 東京地裁 平成■年■月■日 東京高裁（確定）	[redacted]	多数回の出張 リスクファクター
20	平成■年■月■日 福岡地裁 控訴審係属中	[redacted]	熱中症 狭心症

（２）敗訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
21	平成■年■月■日 東京地裁	[redacted]	時間外労働時間数 80 時間以内 精神的緊張

		[redacted]	
22	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁	[redacted]	心房細動 上腸間膜動脈閉塞 不整脈による血栓 の形成

3　石綿関連疾患事案判決

（1）　勝訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
23	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 千葉地裁 （確定）	[redacted]	石綿びまん性胸膜肥厚による肺機能障害 %肺活量の値と動脈血酵素分圧の値との不整合
24	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 宮崎地裁 平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 福岡高裁宮崎支部	[redacted]	石綿肺 顕微鏡的多発血管炎
25	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大分地裁 控訴審係属中	[redacted]	石綿肺 間質性肺炎
26	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 神戸地裁 控訴審係属中	[redacted]	石綿肺がん 胸膜プラーク

（2）敗訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
27	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 静岡地裁	[redacted]	確定診断のない中皮腫
28	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁	[redacted]	石綿肺がん 同僚に胸膜プラークが認められた事例

29	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 宮崎地裁	[redacted]	ブレーキライニング交換作業 石綿肺
30	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁	[redacted]	石綿肺がん クリソタイルの長期ばく露

4　高次脳機能障害（ＴＢＩ、ＭＴＢＩ）事案判決（勝訴）

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
31	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁 平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 最高裁（確定）	[redacted]	高次脳機能障害 ＭＴＢＩ
32	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁 上告審係属中	[redacted]	高次脳機能障害 ＭＴＢＩ
33	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁 （確定）	[redacted]	高次脳機能障害

5　脳脊髄液漏出症事案判決

（１）勝訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
34	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 広島高裁岡山支部 （確定）	[redacted]	脳脊髄液減少症

（２）敗訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
35	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 和歌山地裁 控訴審係属中	[redacted]	脳脊髄液漏出症 四肢麻痺

６　受動喫煙・化学物質過敏症事案判決（勝訴）

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
36	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁 （確定）	[redacted]	受動喫煙 平均的労働者
37	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁 （確定）	[redacted]	受動喫煙 肺がん
38	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪高裁 （確定）	[redacted]	トルエン 化学物質過敏症

７　上肢障害判決

（１）勝訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
39	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁 （確定）	[redacted]	頸肩腕症候群 パソコン作業

（２）敗訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
40	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁	[redacted]	上肢障害（頸椎症性脊髄症）、腰痛 鉄製工具の形状と作業態様による負荷
41	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁	[redacted]	[redacted] 頚肩腕障害 上肢等への負担
42	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 千葉地裁	[redacted]	腱板断裂 リハビリの効果

８　腰痛判決（勝訴）

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
43	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪高裁 上告審係属中	[redacted]	身体障害を有する労働者 平均的労働者基準

９　振動障害判決（敗訴）

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
44	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 高知地裁	[redacted]	振動障害 皮膚温の中等度異常の評価

10　労働者性事案判決

（１）勝訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
45	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 福岡高裁（確定）	[redacted]	労働者性 [redacted] 業務執行権

（２）敗訴

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
46	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 福岡地裁	[redacted]	本社課長の管理監督者性

11　認定基準によらない疾病（長時間労働等）事案判決（勝訴）

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
47	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁 平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 最高裁（確定）	[redacted]	著しい長時間労働 慢性骨髄性白血病 高度の蓋然性の証明
48	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁 平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 最高裁（確定）	[redacted]	原発性肝がん 海外出張
49	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪地裁 控訴審係属中	[redacted]	化学物質（ジアニシジン等） 口腔がん
50	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪地裁 控訴審係属中	[redacted]	糖尿病 長時間労働

12　二重就労事案判決（勝訴）

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
51	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁 平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 最高裁（確定）	[redacted]	二重就労 平均賃金（給付基礎日額）の合算
52	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京高裁	[redacted]	二重雇用 労働時間の合算

13　その他

NO	判決日・裁判所	判決の概要	キーワード
53	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 東京地裁 上告審係属中	[redacted]	じん肺症と急性心筋梗塞 治療機会の喪失
54	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 大阪高裁 平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 最高裁（確定）	[redacted]	労災認定事業場名 情報公開法 不開示情報 逆転勝訴
55	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 横浜地裁	[redacted]	RSD(CRPS　type Ⅰ) DVD 映像
56	平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日 熊本地裁	[redacted]	騒音性難聴 時効の起算点

○〔精神４〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（二審確定）

[redacted]

キーワード：出来事としての時間外労働、新認定基準の合理性

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨

（１）一審判決（さいたま地方裁判所：平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日（国勝訴））

ア　精神障害の発病時期

[redacted]

イ　業務による心理的負荷（労働時間以外は略）

[redacted]

ウ　判断指針による判断

[redacted]

（２）控訴審（東京高等裁判所：平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日（国勝訴））

ア　認定基準の合理性（認定基準発出の経緯、認定基準の内容に照らせば合理性が認められると判示）

[redacted]

イ　認定基準に基づく検討（新設の80時間超えの時間外労働を出来事として評価しても心理的負荷の強度は「中」にとどまる）

[redacted]

[redacted]

ウ　認定基準に基づく業務起因性の判断

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	認定基準での主張	[redacted]
2	療養経過	[redacted]

○〔精神４〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　岐阜地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：発病前６か月より前からの長時間労働、上司の叱責（仕事上のミスに対する指導）

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国勝訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈出来事の評価対象期間〉

[redacted]

（３）〈業務の過重性〉

[redacted]

[redacted]

（４）〈結論〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	時間外労働時間数の算定	[redacted]
2	出来事の評価期間	[redacted]
3	上司の叱責（仕事上のミスに対する指導）	[redacted]

○〔精神３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：上司によるいじめ・嫌がらせ

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

(1)〈判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	上司によるいじめ・嫌がらせの事実	[redacted]

○〔精神２〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：　[redacted]からの暴行によるＰＴＳＤ、発病後の私的旅行

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨

(1)〈判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈発症時期〉

[redacted]

(3)〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	療養中の原告の行動の主張	[redacted]
2	認定基準での主張	[redacted]

○〔精神２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：[redacted]の自殺　精神障害発病後の悪化

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国勝訴）

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈発病時期〉

[redacted]

（3）〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3 勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	亡子の勤務状況及び精神障害発病後の労働時間増加の原因	[redacted]
2	精神障害発病後の悪化の業務起因性	[redacted]

[redacted]

○〔精神１〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　最高裁決定　上告不受理
平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：精神障害の発病後の悪化

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）一審判決（国勝訴）

ア〈判断枠組み〉

[redacted]

イ〈発病時期〉

[redacted]

ウ〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

（２）控訴審判決（国勝訴）

ア〈発病時期、精神障害発病の業務起因性〉

[redacted]

イ〈精神障害の悪化の業務起因性〉

[redacted]

３　発病後の悪化に係る訴訟上の留意事項

[redacted]

○〔精神１〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪高裁判決　国敗訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　神戸地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：出来事後の恒常的な長時間労働、漏水調査・補修工事の過重性

１　事件の概要

[redacted]

２　一審判決要旨（国勝訴）（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日）

(1)〈判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈業務による心理的負荷〉

[redacted]

[redacted]

(3)〈業務起因性〉

[redacted]

3　控訴審判決要旨（国逆転敗訴）（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日）

(1)〈判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈業務による心理的負荷〉

[redacted]

(3)〈業務起因性〉

[redacted]

4　控訴審における敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	出来事後の恒常的な長時間労働	[redacted]
2	勤務時間中の空き時間の立証	[redacted]
3	控訴審における主張・立証	[redacted]

○〔精神１〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：拘束時間、極度の長時間労働

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）[redacted]

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈精神障害の発病及び時期〉

[redacted]

（3）〈業務による心理的負荷〉

[redacted]

[redacted]

（4）〈業務起因性の判断〉

[redacted]

3　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	労働時間の事実認定	[redacted]	[redacted]
2	精神障害の発病	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	労働時間の事実認定	[redacted]
2	故意による自殺	[redacted]

○〔精神３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　新潟地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：出来事が繰り返される場合の心理的負荷の評価期間、ノルマ未達成、叱責の繰り返し

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈営業所長の指導や叱責〉

[redacted]

（3）〈国側の聴取書の信用性〉

[redacted]

（4）〈ノルマ〉

[redacted]

（5）〈全体としての評価〉

[redacted]

[redacted]

（６）〈心理的負荷の評価期間〉

[redacted]

（７）〈業務起因性〉

[redacted]

３　国側主張と判決との相違点

		国側主張	判　決
1	指導や叱責	[redacted]	[redacted]
2	ノルマ	[redacted]	[redacted]

４　敗訴の要因分析

		敗訴した要因として考えられる事項
1	指導や叱責の態様	[redacted]

○〔精神４〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪高裁判決　国敗訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：退職の強要による心理的負荷

1　事件の概要

[redacted]

2　一審判決要旨（国勝訴）（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日）

(1)〈業務起因性の判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈精神障害の発症〉

[redacted]

(3)〈業務による心理的負荷〉

[redacted]

(4)〈個体側の脆弱性〉

[redacted]

(5)〈業務起因性〉

[redacted]

3　控訴審判決要旨（国逆転敗訴）（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日）

(1)〈業務起因性の判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈精神障害の発症〉

[redacted]

(3)〈業務による心理的負荷〉

[redacted]

(4)〈個体側要因〉

[redacted]

(5)〈業務起因性〉

[redacted]

4　控訴審における敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	退職の強要の具体的内容	[redacted]

○〔精神５〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　鳥取地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード　：　厳しい叱責

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

（1）〈判断枠組〉

[redacted]

（2）〈原告の疾病〉

[redacted]

（3）〈業務起因性〉

[redacted]

3　国の主張と判決との相違点

	国側主張	判　決
1　不告知教唆	[redacted]	[redacted]
2　叱　　責	[redacted]	[redacted]
3　班　分　離	[redacted]	[redacted]

4　敗訴の要因分析

	敗訴した要因として考えられる事項
上司の厳しい叱責を肯定する複数証言 [redacted]	[redacted]

○〔精神１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　福井地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：労働災害による入院生活、疼痛性障害

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

（１）〈精神障害の発病の有無〉

[redacted]

（２）〈本件崩落事故と精神障害発病との相当因果関係の有無〉

[redacted]

3　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	精神障害の発病の有無	[redacted]	[redacted]

		[redacted]	[redacted]
2	本件崩落事故と精神障害発病との相当因果関係の有無	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	原告の時機に遅れた主張	[redacted]
2	専門医を証人尋問に立てなかったこと	[redacted]

○〔精神○〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪高裁判決　国一部敗訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：帰宅途中のひったくりによる心理的負荷

1　事件の概要

[redacted]

2　一審判決要旨（国勝訴）（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日）

(1)〈通勤起因性の判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈精神障害の発症〉

[redacted]

(3)〈本件事故による心理的負荷の評価〉

[redacted]

(4)〈個体側要因〉

[redacted]

(5)〈結論〉

[redacted]

3　控訴審判決要旨（国逆転一部敗訴）（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日）

(1)〈通勤起因性の判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈控訴人の症状〉

[redacted]

(3)〈通勤起因性〉

[redacted]

(4)〈結論〉

[redacted]

4　控訴審における敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	本件事故による心理的負荷の評価	[redacted]

○〔精神○〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　京都地裁判決　国敗訴（確定）

[redacted]

キーワード　：左示指の一部切断、適応障害

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

(1)〈原告が罹患した精神障害〉

[redacted]

(2)〈原告の適応障害の業務起因性〉

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	本件事故による心理的負荷の強度	[redacted]	[redacted]

４　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	本件事故による心理的負荷の強度の評価	[redacted]

○〔精神障害〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国逆転敗訴（確定）

[redacted]

キーワード　：労災請求の約１２年前に発病した精神障害、[redacted]

1　事件の概要

[redacted]

2　控訴審判決要旨（国逆転敗訴）

（１）＜判断枠組み＞

[redacted]

（２）＜発病時期＞

[redacted]

（３）＜本件疾病の業務起因性＞

[redacted]

[redacted]

3　国の主張と判決の主な相違点

		国主張（一審判決）	控訴審判決
1	融資金の回収に係る出来事の心理的負荷の強度	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	寛解（治ゆ）・再発の検討	[redacted]
2	発病前６か月間の出来事の調査	[redacted]

○〔その他２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　静岡地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：社員旅行の業務遂行性

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈業務の質的過重性について〉

[redacted]

（３）〈業務の量的過重性について〉

[redacted]

（４）〈社員旅行の業務遂行性について〉

[redacted]

（５）〈相当因果関係〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	業務の過重性	[redacted]

○〔脳心１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国逆転勝訴（原告上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴　国控訴）

[redacted]

キーワード：発症前６か月より前の過重性の評価、蓄積された疲労の解消、逆転勝訴

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）一審判決（国敗訴）

[redacted]

（２）控訴審判決（国逆転勝訴）

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

	一審敗訴要旨	国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	本件くも膜下出血の原因は「脳動静脈奇形」の破綻ではなく、「脳動脈瘤」の破裂とするのが相当	[redacted]
2	発症前6か月より前の過重性を評価、疲労の解消により「脳動脈瘤」は改善しない	[redacted]

○〔脳心３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　神戸地裁判決　国勝訴（確定）

[redacted]

キーワード：発症前６か月より前の長時間労働、疲労の回復

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

(1)〈判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	勤務時間管理の状況	[redacted]
2	発症前６か月間より前の長時間労働の評価	[redacted]

○〔脳心２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：多数回の出張、リスクファクター

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈業務の過重性〉

[redacted]

[redacted]

（３）〈虚血性心疾患のリスク因子〉

[redacted]

（４）〈結論〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	時間外労働時間数の認定	[redacted]
2	出張形態	[redacted]
3	リスクファクター	

○〔熱中症〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　福岡地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：熱中症、狭心症

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈熱中症発症の有無〉

[redacted]

（3） 〈業務の過重性の有無〉

[redacted]

（4） 〈まとめ〉

[redacted]

3 勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	医師の証人尋問	[redacted]

○〔脳心２〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：時間外労働時間数８０時間以内、精神的緊張

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈業務の過重性〉

[redacted]

（3）〈業務起因性〉

[redacted]

3　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	労働時間の事実認定	[redacted]	[redacted]

		[redacted]	[redacted]
2	精神的緊張	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	精神的緊張の評価	[redacted]
2	出血病巣の特定及びリスクファクター等	[redacted]

○〔脳心３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：心房細動、上腸間膜動脈閉塞、不整脈による血栓の形成

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国敗訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈業務起因性〉

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	本件における上腸間膜動脈虚血の原因と考えられる疾病①上腸間膜	[redacted]	[redacted]

	動脈塞栓症	[redacted]	[redacted]
2	同 ②上腸間膜動脈血栓症	[redacted]	[redacted]
3	同 ③慢性腸間膜虚血	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	被災者の業務内容に係る主張	[redacted]
2	本件疾病の発症原因	

○〔その他６〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　千葉地裁判決　国勝訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：石綿びまん性胸膜肥厚による肺機能障害、％肺活量の値と動脈血酸素分圧の値との不整合

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

(1)〈判断枠組み：認定基準自体は争点となっていない〉

[redacted]

(2)〈本件著しい肺機能障害と認められるか〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	各種検査データから肺機能が良好であったことを主張したこと	[redacted]

○〔石綿１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　宮崎地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：石綿肺、顕微鏡的多発血管炎

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

（１）〈石綿肺の検討〉

[redacted]

[redacted]

（２）〈認定基準への当てはめ〉

[redacted]

（３）〈業務起因性〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	石綿への職業ばく露の程度	[redacted]
2	石綿肺の否定	[redacted]

○〔石綿２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大分地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：石綿肺、間質性肺炎

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨〈国勝訴〉

（1）〈石綿ばく露の程度〉

[redacted]

（2）〈石綿肺の有無〉

[redacted]

[redacted]

（３）〈業務起因性〉

[redacted]

（４）〈訴訟における主張の範囲〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	石綿ばく露の濃度	[redacted]
2	石綿肺の否定	

○〔石綿１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　神戸地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：石綿肺がん、胸膜プラーク

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

ア〈業務起因性の判断基準〉

[redacted]

イ〈石綿ばく露作業従事期間〉

[redacted]

ウ〈肺内に胸膜プラークが認められるか否か〉

[redacted]

エ〈胸膜プラークが存在する高度の蓋然性を基礎付ける事情の有無〉

[redacted]

オ〈まとめ〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	業務起因性（平成１８年基準）	[redacted]
2	被告からの鑑定申立（胸膜プラーク所見）	[redacted]

○〔石綿１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　静岡地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：確定診断のない中皮腫

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国敗訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈中皮腫と臨床所見等との整合性・他疾患との鑑別〉

[redacted]

（３）〈業務起因性〉

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
１	症状	[redacted]	[redacted]

2	ＣＴ画像	[redacted]	[redacted]
3	胸水細胞診	[redacted]	[redacted]
4	胸水中ヒアルロン酸値	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	医学的な判断についての裁判官の心証形成	[redacted]
2	確定診断のない事案	[redacted]

○〔その他３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：石綿肺がん、同僚に胸膜プラークが認められた事例

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国敗訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈業務起因性〉

[redacted]

３　国側主張と判決との相違点

		国側主張	判　決
1	亡夫の検査画像所見上、胸膜プラーク所見の記載がないことについて	[redacted]	[redacted]
2	同僚の胸膜プラークの所見について	[redacted]	[redacted]

４　敗訴の要因分析

		敗訴した要因として考えられる事項
1	胸膜プラークの有無の確認	[redacted]
2	石綿ばく露の状況	[redacted]

○〔その他５〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　宮崎地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード　：　ブレーキライニング交換作業、石綿肺

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国敗訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈業務起因性〉

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	石綿ばく露状況	[redacted]	[redacted]

		[redacted]	[redacted]
2	じん肺法による胸部X線の像	[redacted]	[redacted]
3	肺機能障害	[redacted]	[redacted]
4	石綿肺	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	石綿ばく露状況	[redacted]
2	原告主張への反論	[redacted]

○〔石綿２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国敗訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴　国控訴）

[redacted]

キーワード　：　石綿肺がん、クリソタイルの長期ばく露

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（控訴審）（国敗訴・確定）

ア〈平成18年認定基準と平成19年補償課長通知〉

[redacted]

イ〈耐熱服による石綿の直接ばく露の有無と石綿ばく露作業従事期間〉

[redacted]

ウ〈石綿と肺がんの因果関係〉

[redacted]

エ〈被控訴人の肺がんの業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

オ〈業務起因性に関する補充判断〉

[redacted]

3　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判　決
1	業務起因性の判断基準	[redacted]	[redacted]
2	石綿ばく露状況	[redacted]	[redacted]

4　敗訴原因

[redacted]

5　クリソタイルの長期ばく露に係る訴訟上の留意事項

[redacted]

○〔脳機能障害１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：高次脳機能障害、ＭＴＢＩ

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（第一審及び控訴審）（国勝訴）

(1)〈事故の態様〉

[redacted]

(2)〈疾病と事故との因果関係〉

[redacted]

(3)〈症状の存在〉

[redacted]

[redacted]

(4) 〈控訴人の自覚症状〉

[redacted]

(5) 〈受傷機転との関係〉

[redacted]

(6) 〈ＷＨＯ基準との関係〉

[redacted]

(7) 〈結論〉

[redacted]

3 勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	事故の態様から、控訴人がMTBIを発症したとは言えないこと	[redacted]
2	自賠責報告書の提出	
3	本件事故後の症状経過から、控訴人がMTBIを発症したとは言えないこと	

○〔脳機能障害３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：高次脳機能障害、ＭＴＢＩ

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）一審判決（国勝訴）

ア〈原告の症状〉

[redacted]

イ〈本件事故と原告の症状との因果関係〉

[redacted]

[redacted]

ウ〈結論〉

[redacted]

（２）控訴審判決（国勝訴）

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	交通事故の程度	[redacted]
2	意識障害の有無	[redacted]
3	症状の経過	[redacted]

○〔脳機能障害１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：高次脳機能障害

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（控訴審（一審判決の引用を含む））（国勝訴）

（１）〈高次脳機能障害の判断基準〉

[redacted]

（２）〈業務起因性の主張〉

[redacted]

（３）〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	本件事故と控訴人の症状との因果関係は認められないこと	[redacted]
2	高次脳機能障害の判断基準として、「支援の手引き」の診断基準を示したこと	[redacted]

○〔その他１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　広島高裁岡山支部判決　国勝訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　岡山地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：　脳脊髄液減少症

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国勝訴）

（１）〈判断枠組み〉〔原審、控訴審〕

[redacted]

（２）脳脊髄液減少症についての一般的医学知見〔ア及びイ原審、控訴審、ウ主に控訴審〕

[redacted]

[redacted]

（３）療養上の相当性〔原審、控訴審〕

[redacted]

（４）脳脊髄液減少症罹患の有無〔控訴審〕

[redacted]

（５）平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日以後の療養の必要性〔原審、控訴審〕

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント　（主張、証拠）
1	医学意見書	[redacted]
2	事故による衝撃	[redacted]

○〔漏出症１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　和歌山地裁判決　国敗訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：脳脊髄液漏出症、四肢麻痺

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

(1)〈脳脊髄液漏出症の発症の有無〉

[redacted]

(2)〈原告の症状と本件災害との間の因果関係〉

[redacted]

(3)〈結論〉

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	脳脊髄液漏出症の発症の有無	[redacted]	[redacted]
2	原告の症状と本件災害との間の因果関係	[redacted]	[redacted]
3	原告の障害等級	[redacted]	[redacted]

４　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	脳脊髄液漏出症及び原告の症状に関する主張	[redacted]

○〔化学物質過敏症１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：受動喫煙症、平均的労働者

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈受動喫煙症診断基準〉

[redacted]

[redacted]

（３）〈業務起因性〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	受動喫煙による肺癌の診断基準が確立した知見でないこと	[redacted]
2	平均的労働者からみて症状発症の危険性があったとはいえないこと	[redacted]

○〔受動喫煙〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴（　）

[redacted]

キーワード：受動喫煙、肺がん

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨

（１）＜判断枠組み＞

[redacted]

（２）＜受動喫煙の程度＞

[redacted]

（３）＜受動喫煙と本件疾病発症との因果関係＞

[redacted]

[redacted]

（４）＜カーボンインクの気化物質と本件疾病発症との因果関係＞

[redacted]

（５）＜まとめ＞

[redacted]

３　勝訴要因

１	受動喫煙による肺がんの発症リスクに係る医学的知見は確立されていないこと	[redacted]
２	遺伝要因による肺がん発症の可能性があったこと	[redacted]

○〔化学物質過敏症２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪高裁判決　国勝訴（確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：トルエン、化学物質過敏症

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

(1)　一審判決（国勝訴）

ア〈原告らが化学物質過敏症を発症したか否か〉

[redacted]

[redacted]

イ〈トルエン暴露と原告らの疾病との間に相当因果関係が認められるか否か〉

[redacted]

(2)　控訴審判決（国勝訴）

ア〈化学物質過敏症発症の有無及び控訴人らの疾病とトルエン暴露との因果関係〉

[redacted]

イ〈控訴審における控訴人らの補充主張に対する判断〉

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	室内濃度指針値	[redacted]

○〔その他４〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：頸肩腕症候群、パソコン作業

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈頸肩腕症候群の発症〉

[redacted]

（3）〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	負るとにもえ等にか主務とに上肢の業を業したいは担作業する事とはい従のとえないこと	[redacted]
2	医が況たなな側の見状えは的欠告の意のまで体を原師の告踏の具拠をもく根こと	[redacted]

○［その他３］　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：　上肢障害（頸椎症性脊髄症）、腰痛、鉄製工具の形状と作業態様による負荷

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

（1）〈判断枠組み〉

[redacted]

（2）〈業務起因性〉

[redacted]

3　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
1	上肢障害に関する過重性の事実認定	[redacted]	[redacted]

		[redacted]	[redacted]
2	腰痛に関する過重性	[redacted]	[redacted]

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	鉄製工具の形状による重量負荷・作業態様による負荷の事実認定	[redacted]

○〔上肢障害１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：[redacted]　頚肩腕障害、上肢等への負担

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国敗訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈発症時期〉

[redacted]

（３）〈業務起因性〉

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判決
１	上肢等に負担のかかる作業	[redacted]	

		[redacted]
2	発症時期	

4　敗訴要因

		敗訴した要因として考えられる事項
1	上肢等に負担のかかる作業	[redacted]
2	傷病名の特定と発症時期	

○〔再発１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　千葉地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：腱板断裂、リハビリの効果

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴・確定）

（１）＜判断枠組み＞

[redacted]

（２）＜治療経過（事実認定）＞

[redacted]

（３）＜リハビリ治療の改善可能性＞

[redacted]

３　国の主張と判決の主な相違点

		国主張	判　決
1	リハビリ治療の効果	[redacted]	

４　敗訴要因

1	局医等意見の未徴収	[redacted]
2	応訴方針の検討不足（私病の調査）	

○〔腰痛１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪高裁判決　国勝訴（上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード　：身体障害を有する労働者、平均的労働者基準

1　事件の概要

[redacted]

2　控訴審判決要旨（国勝訴）

(1)〈一審判決からの引用〉

[redacted]

[redacted]

(2) 〈控訴審における控訴人の主張に対する判断〉

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	控訴人の身体障害の程度	[redacted]

【平成２４年度敗訴判決】

○〔その他２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　高知地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード：振動障害、皮膚温の中等度異常の評価

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国敗訴）

（1）[redacted]

（2）〈末梢循環障害について〉

[redacted]

（3）[redacted]

3　国側主張と判決との相違点

[redacted]

[redacted]

4　敗訴の要因分析

		敗訴した要因として考えられる事項
1	末梢循環機能の検査結果についての評価	[redacted]
2	頸椎疾患の検証	

○〔労働者性１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　福岡高裁判決　国勝訴（二審確定）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　福岡地裁判決　国勝訴（原告控訴））

[redacted]

キーワード　：労働者性、[redacted]　業務執行権

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（控訴審判決）

（１）労働者性の判断

[redacted]

（２）控訴人の主張に対する判断

[redacted]

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	業務執行権の有無に関する主張	[redacted]

【平成２４年度敗訴判決】

○〔その他１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　福岡地裁判決　国敗訴（一審確定）

[redacted]

キーワード　：　本社課長の管理監督者性

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）〈判断枠組〉

[redacted]

（２）〈亡夫の管理監督者性〉

[redacted]

（３）〈結論〉

[redacted]

3　国側主張と判決との相違点

		国側主張	判決
1	経営者との一体性	[redacted]	
2	労働時間の裁量性	[redacted]	
3	待遇の相当性	[redacted]	

4　敗訴の要因分析

		敗訴した要因と考えられる事項
	本社課長の権限	[redacted]

○〔認定基準外１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：著しい長時間労働、慢性骨髄性白血病、高度の蓋然性の証明

1　事件の概要

[redacted]

2　控訴審判決要旨

＜一審判決を以下のとおり引用＞

ア〈業務の過重性〉

[redacted]

イ〈因果関係の立証〉

[redacted]

ウ〈医学的知見の有無〉

[redacted]

エ〈高度の蓋然性の範囲内の事実的因果関係の立証の可能性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	ＣＭＬの発症・増悪に対する過重労働等のストレスの影響	[redacted]
2	認定基準がない疾病は、一般原則により業務起因性を判断すべきこと	

○〔認定基準外２〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（上告受理申立て中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：原発性肝がん、海外出張

1. 事件の概要

[redacted]

2　控訴審判決要旨

＜一審判決を以下のとおり引用＞

ア〈症状経過〉

[redacted]

イ〈業務起因性〉

[redacted]

ウ〈中国への出張〉

[redacted]

エ〈A医師作成の医学意見書〉

[redacted]

[redacted]

オ〈原告の日記、供述内容〉

[redacted]

カ〈まとめ〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	中国への出張業務の過重性	[redacted]
2	亡夫の死亡原因	

○［その他５］平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：化学物質（ジアニシジン等）、口腔がん

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

(1)〈ジアニシジンと本件疾病との因果関係〉

[redacted]

[redacted]

(2)〈ビスクロロメチルエーテル（以下「ビスクロ」という。）と本件疾病との因果関係〉

[redacted]

(3)〈芳香族アミン、多環芳香族炭化水素、変異原化学物質〉

[redacted]

(4)〈本件疾病発症の他原因〉

[redacted]

(5)〈結論〉

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	化学物質の曝露と本件疾病の因果関係	[redacted]

○〔その他〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：糖尿病、長時間労働

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

(1)〈判断枠組み〉

[redacted]

(2)〈業務起因性〉

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	本件疾病発症の相対的に有力な原因	[redacted]

○〔その他５〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（最高裁上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴）

[redacted]

キーワード：二重就労、平均賃金（給付基礎日額）の合算

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨

（１）東京地裁〔平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日（国勝訴）〕

ア〈判断枠組み〉

[redacted]

イ〈業務に内在する危険性及び労働時間合算の根拠〉

[redacted]

[redacted]

（２）東京高裁〔平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日（国勝訴）〕

ア〈判断枠組み（労災保険制度の趣旨）〉

[redacted]

イ〈本件災害における被災者の過重労働等〉

[redacted]

ウ〈平均賃金の算定〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	これまでの判決例に基づく労災保険制度と個別使用者責任の関係の主張	[redacted]
2	自殺の原因がA社の社長の叱責であることの主張	

○〔二重就労１〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京高裁判決　国勝訴（上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴　原告控訴）

[redacted]

キーワード：二重雇用、労働時間の合算

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）〈労災保険制度の趣旨等〉

[redacted]

（２）〈業務起因性の評価手法〉

[redacted]

[redacted]

（３）〈本件災害における業務起因性〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	複数の事業場に勤務している労働者に対する災害補償責任の所在	[redacted]

○〔その他１〕　平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　東京地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：じん肺症と急性心筋梗塞、治療機会の喪失

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨（国勝訴）

（１）〈判断枠組み〉

[redacted]

（２）〈致死性不整脈〉

[redacted]

（３）〈心筋梗塞〉

[redacted]

（４）〈死亡の機序〉

[redacted]

[redacted]

（５）〈じん肺が急性心筋梗塞の発症に与えた影響〉

[redacted]

（６）〈心臓カテーテル検査と治療機会の喪失〉

[redacted]

（７）〈総合判断〉

[redacted]

３　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
１	じん肺と心筋梗塞の発症との因果関係	[redacted]
２	心臓カテーテル検査のリスク	

○〔その他３〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪高裁判決　国逆転勝訴（上告受理申立中）
（平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　大阪地裁判決　国敗訴・国控訴）

[redacted]

キーワード：脳・心疾患労災認定事業場名、情報公開法、不開示情報、逆転勝訴

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨

（1）第一審判決（国敗訴）

[redacted]

（2）控訴審判決（国逆転勝訴）

[redacted]

[redacted]

3　勝訴要因

	一審敗訴要旨	国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	労災補償給付支給決定の事実自体は、当該事業場の社会的評価の低下に結びつかない。	[redacted]

○〔障害等級〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　横浜地裁判決　国勝訴

[redacted]

キーワード：ＲＳＤ（ＣＲＰＳtype１）、ＤＶＤ映像

１　事件の概要

[redacted]

２　判決要旨

（１）＜判断枠組み＞

[redacted]

（２）＜原告の疼痛等感覚障害について＞

[redacted]

（３）＜原告の上肢の機能障害について＞

[redacted]

[redacted]

（4）＜まとめ＞

[redacted]

4　勝訴要因

		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	ＤＶＤ映像の証拠提出	[redacted]
2	原告が提出した医師の意見書が判断根拠とした検査が、信頼性が低いものであったこと	

○〔時効〕平成[redacted]年[redacted]月[redacted]日　熊本地裁判決　国勝訴（控訴審係争中）

[redacted]

キーワード：騒音性難聴、時効の起算点

1　事件の概要

[redacted]

2　判決要旨（国勝訴）

（1）〈判断枠組み（消滅時効の起算点）〉

[redacted]

（2）〈症状固定（上記（1）①の要件）〉

[redacted]

（3）〈権利行使の期待可能性（上記（1）②の要件）〉

[redacted]

[redacted]

（4）〈まとめ〉

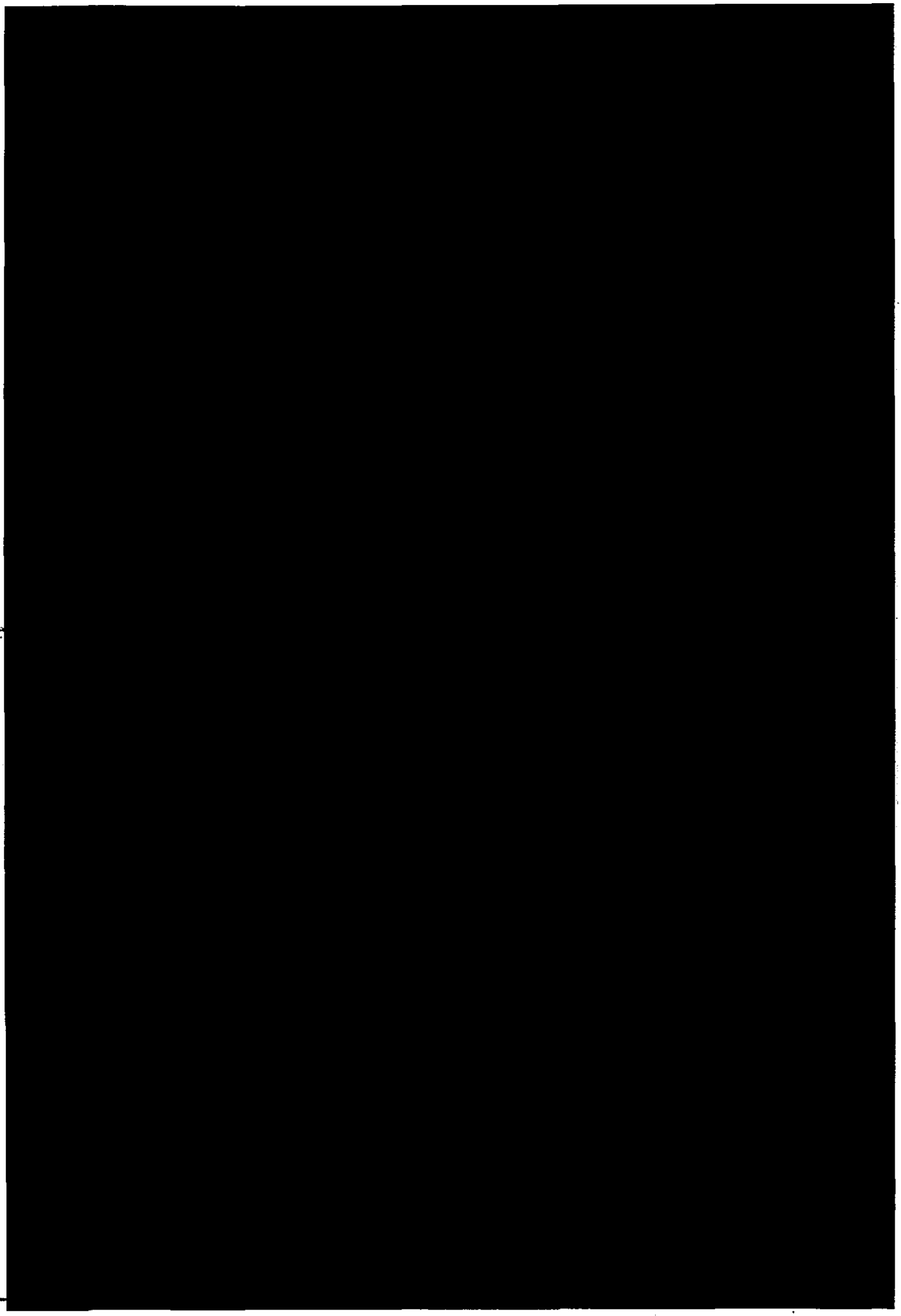
[redacted]

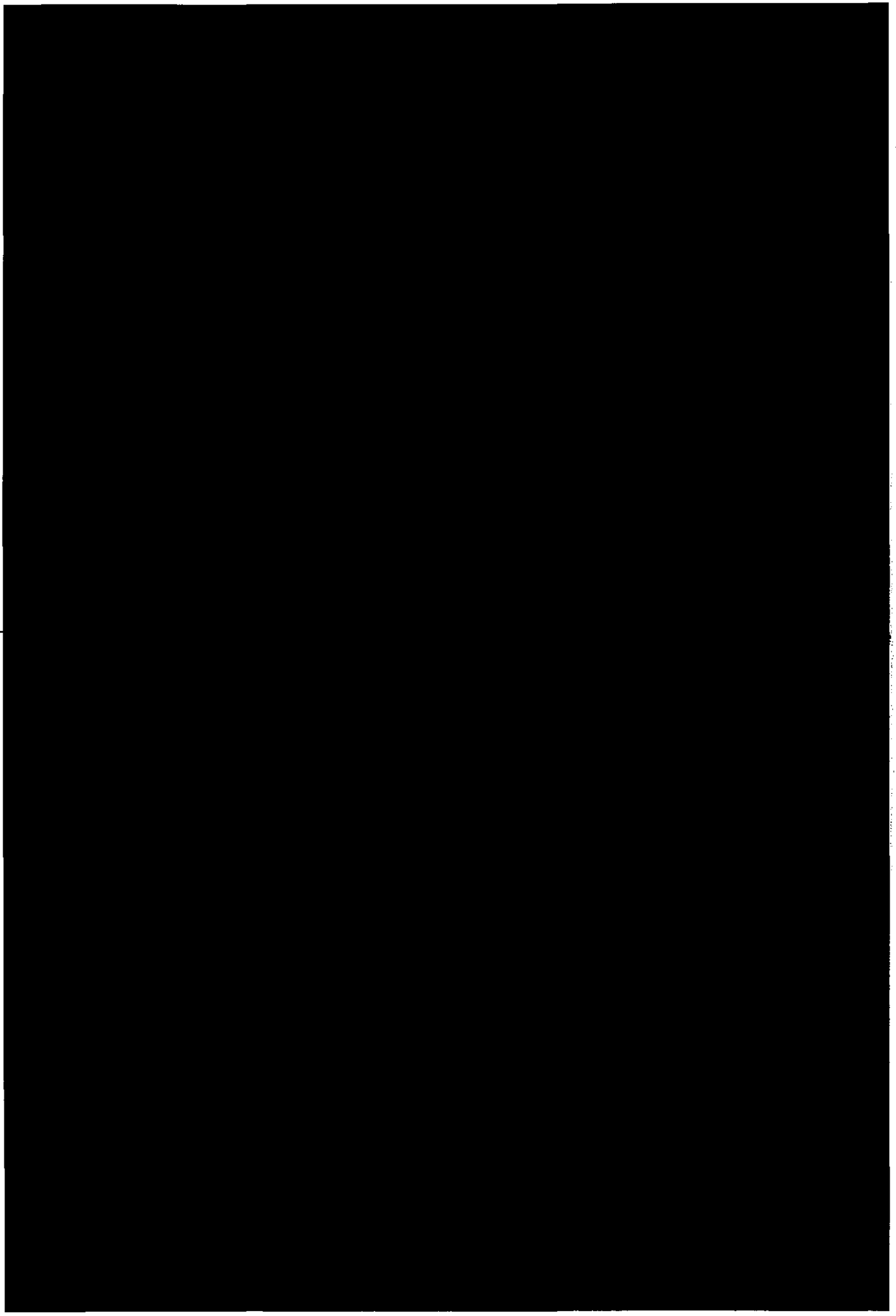
3　勝訴要因

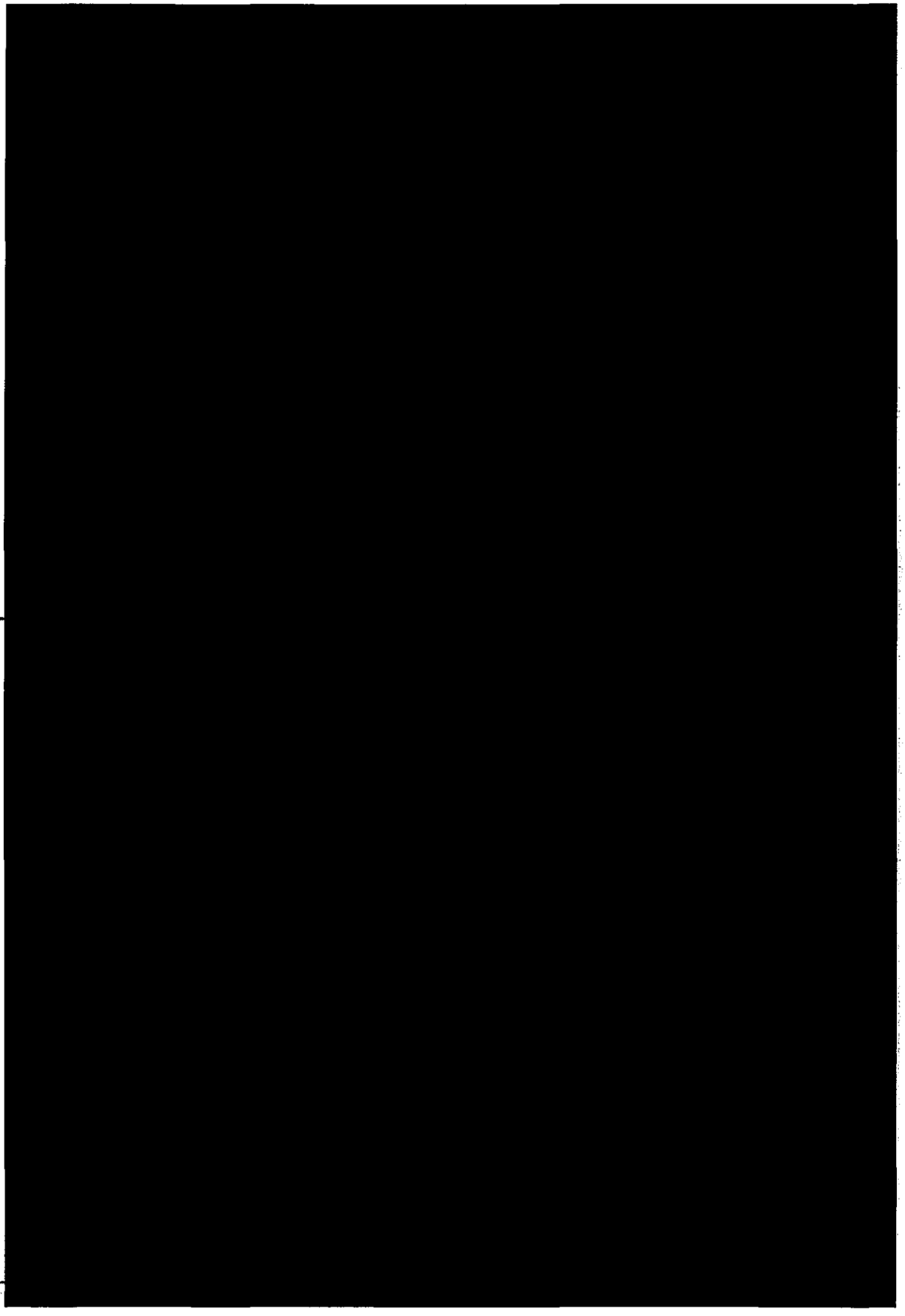
		国の主張が認められたポイント（主張、証拠）
1	判例等の分析	[redacted]

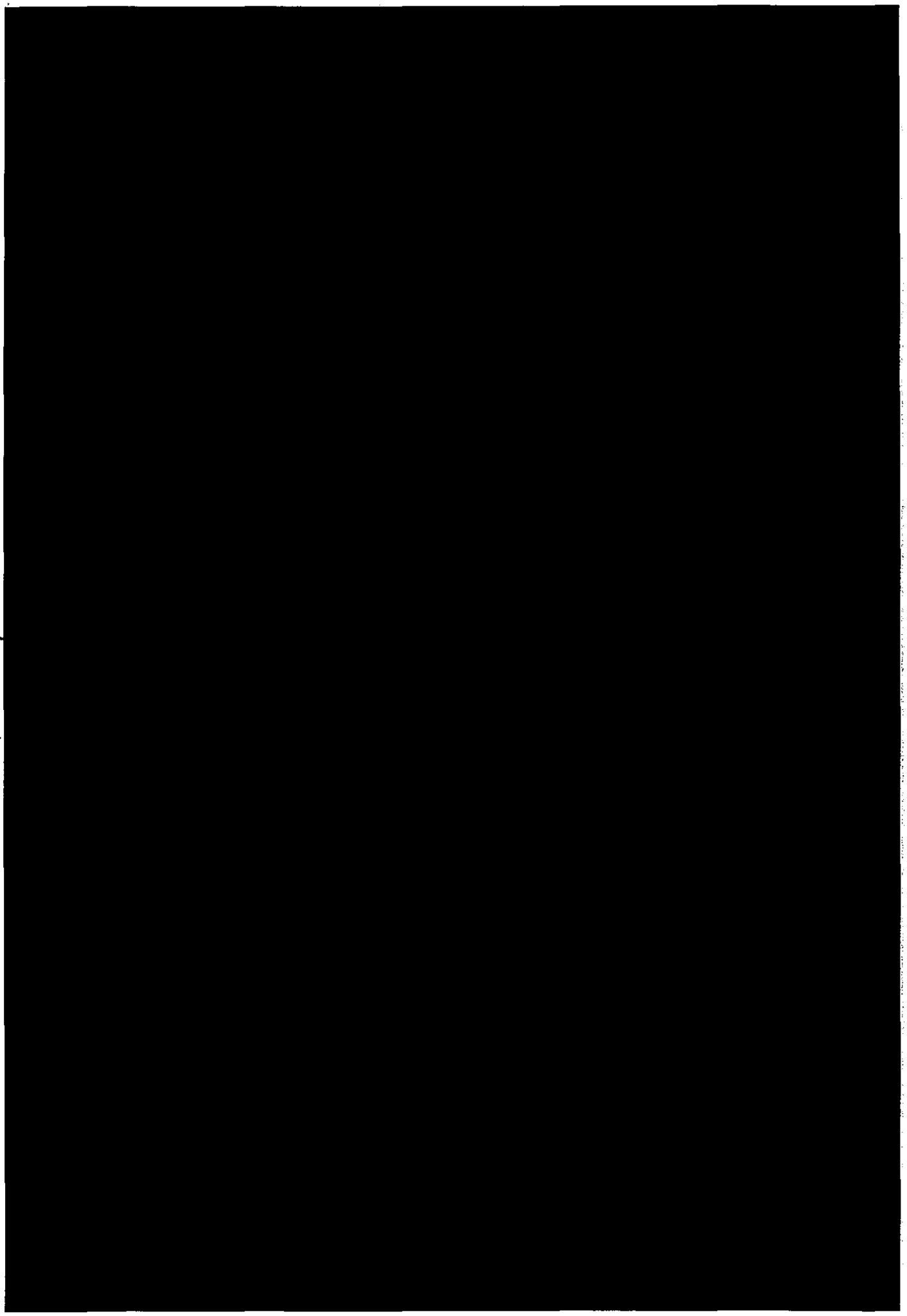
資料　4

事実認定について









資料　5

訴訟を意識した処分

資料2

Ⅲ　訴訟を意識した処分

訴訟を意識した処分の必要性

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

訴訟を意識した処分の必要性

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

事実認定の基礎

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

証拠作成～訴訟対応の観点から

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

処分の手続

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

訴訟対応の観点から見た処分の留意点

[redacted]

Ⅲ　訴訟を意識した処分

訴訟対応の観点から見た処分の留意点

[redacted]

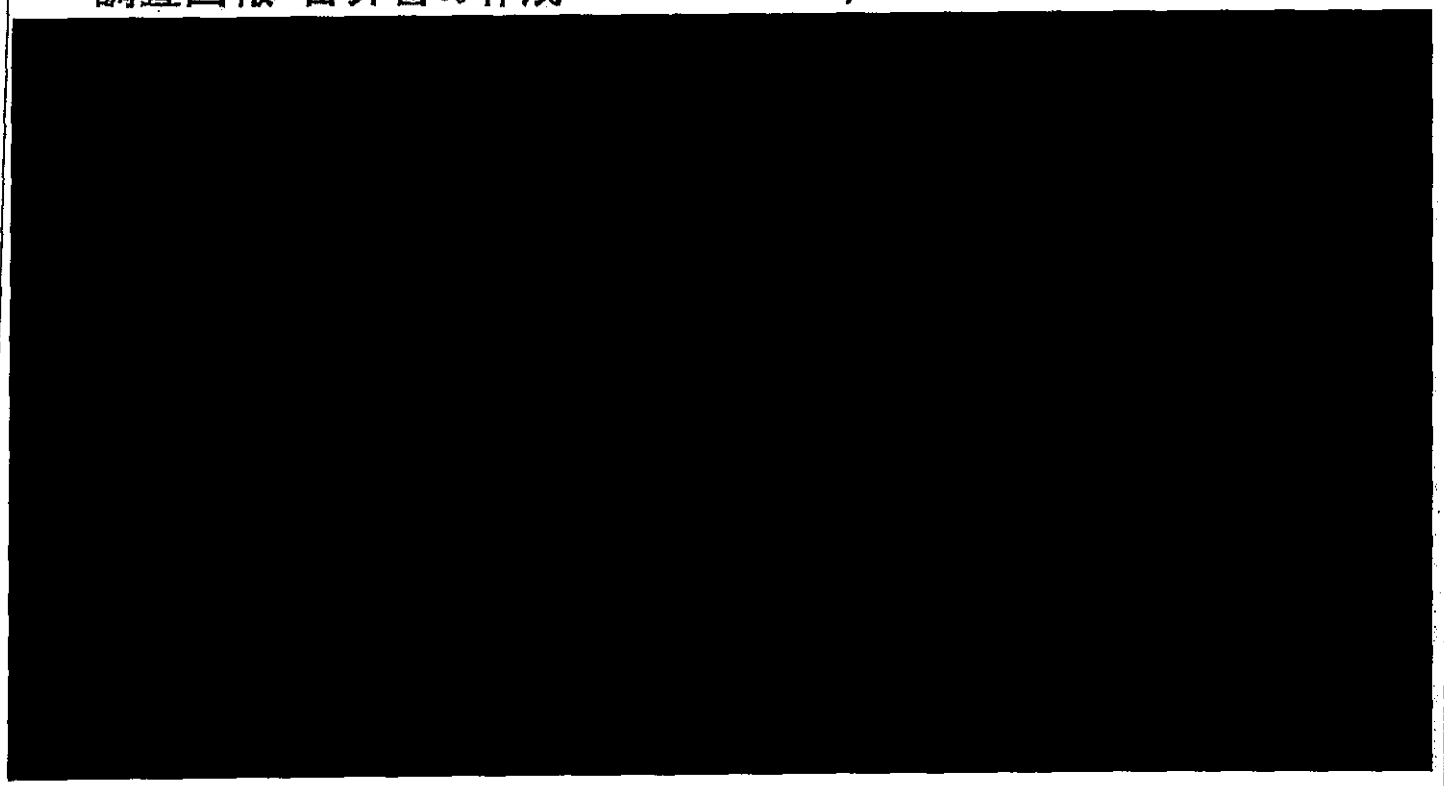
Ⅳ　訴訟に臨むに当たっての留意点

訴訟対応一般

[redacted]

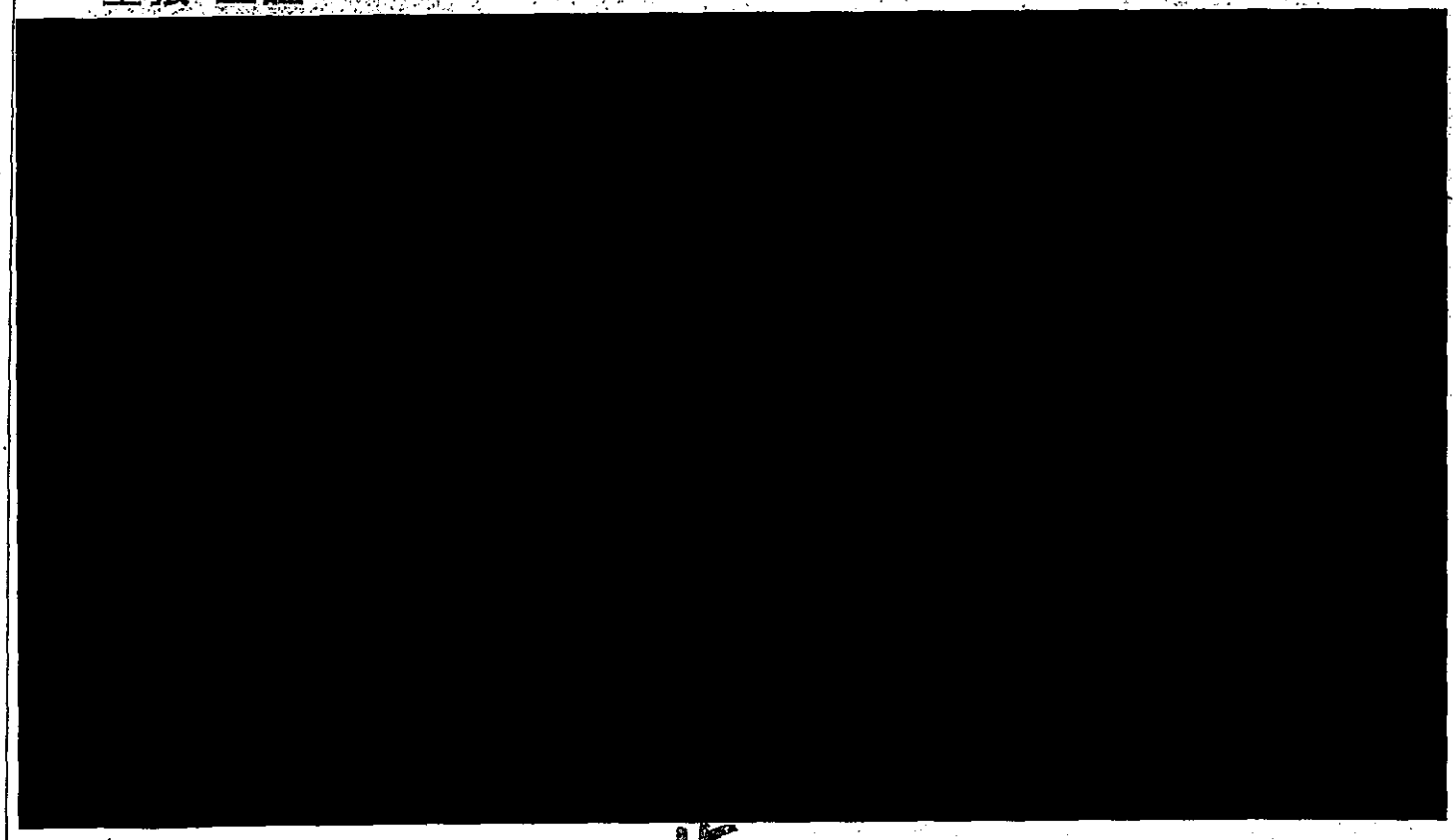
Ⅳ　訴訟に臨むに当たっての留意点

調査回報・答弁書の作成



Ⅳ　訴訟に臨むに当たっての留意点

主張・立証



Ⅳ 訴訟に臨むに当たっての留意点

主張・立証

[redacted]

Ⅳ 訴訟に臨むに当たっての留意点

主張・立証

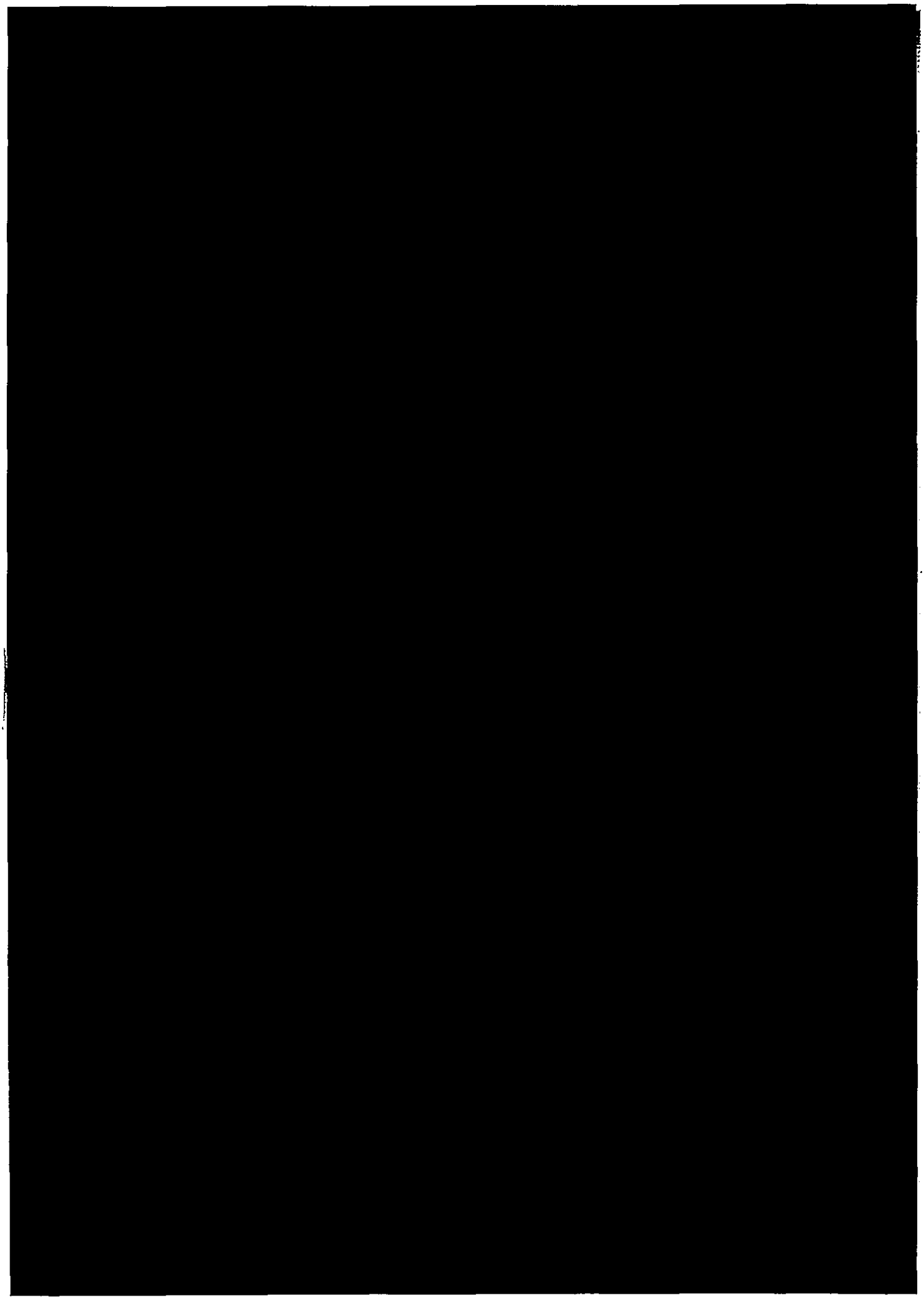
[redacted]

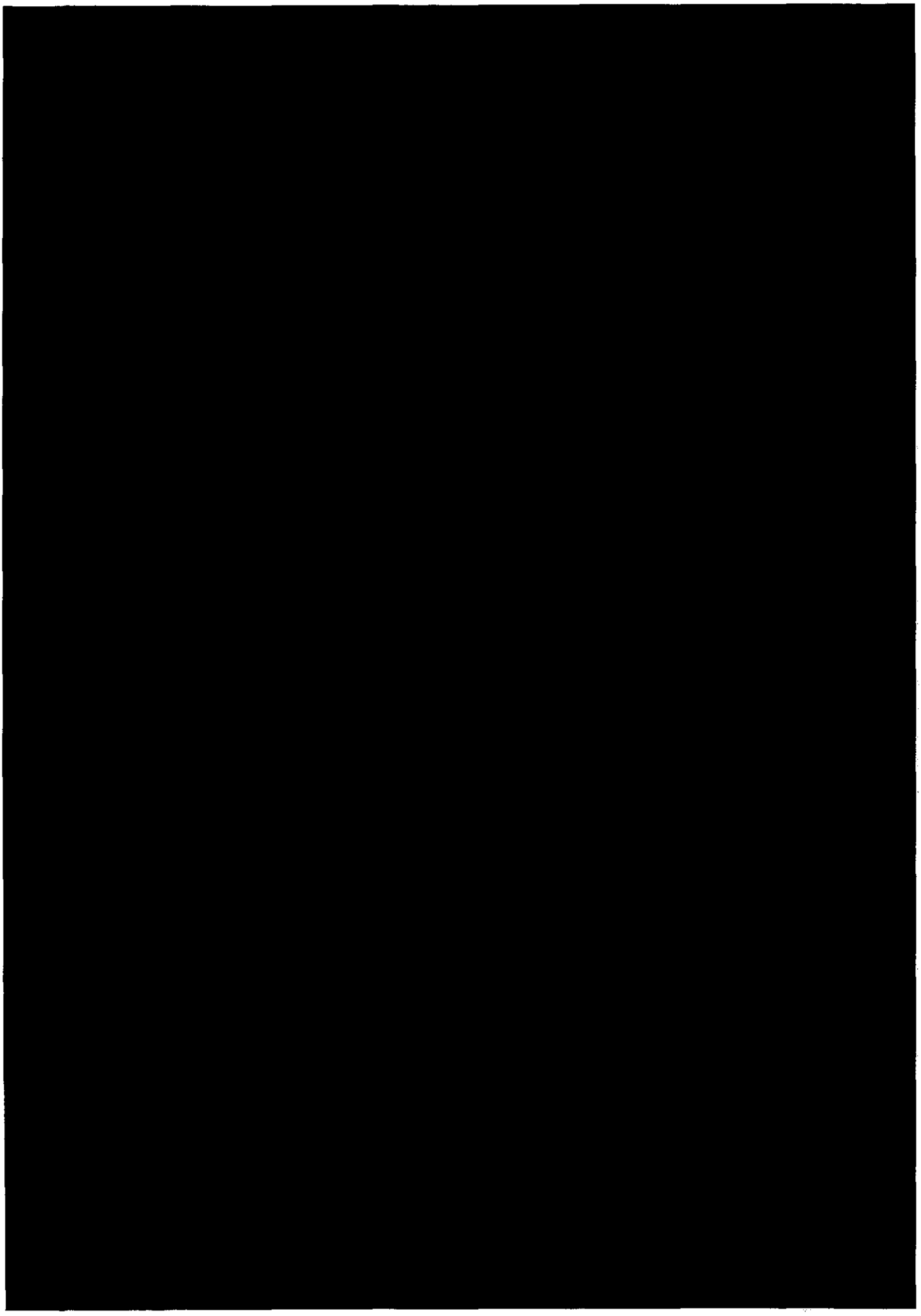
Ⅳ 訴訟に臨むに当たっての留意点

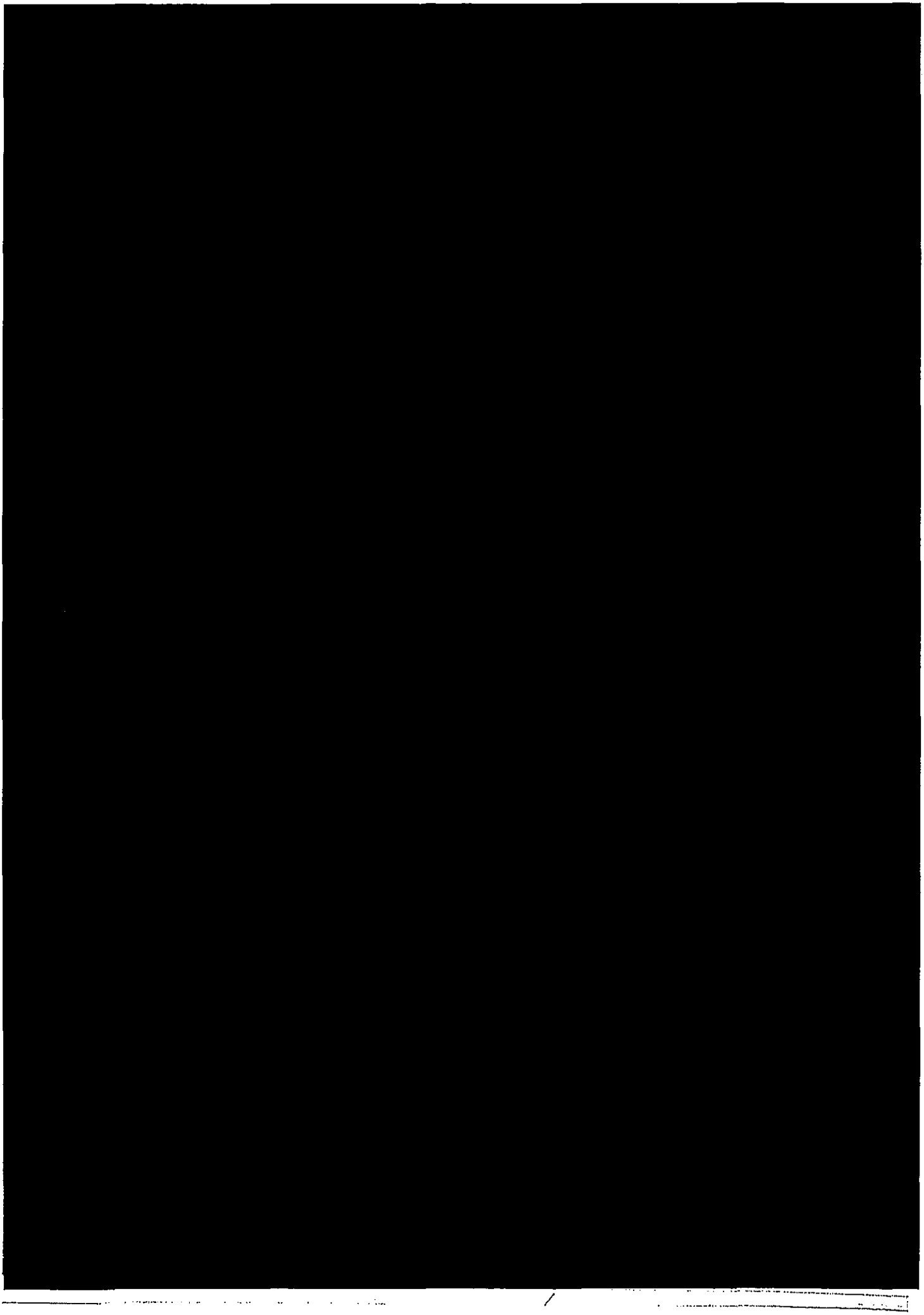
判決対応

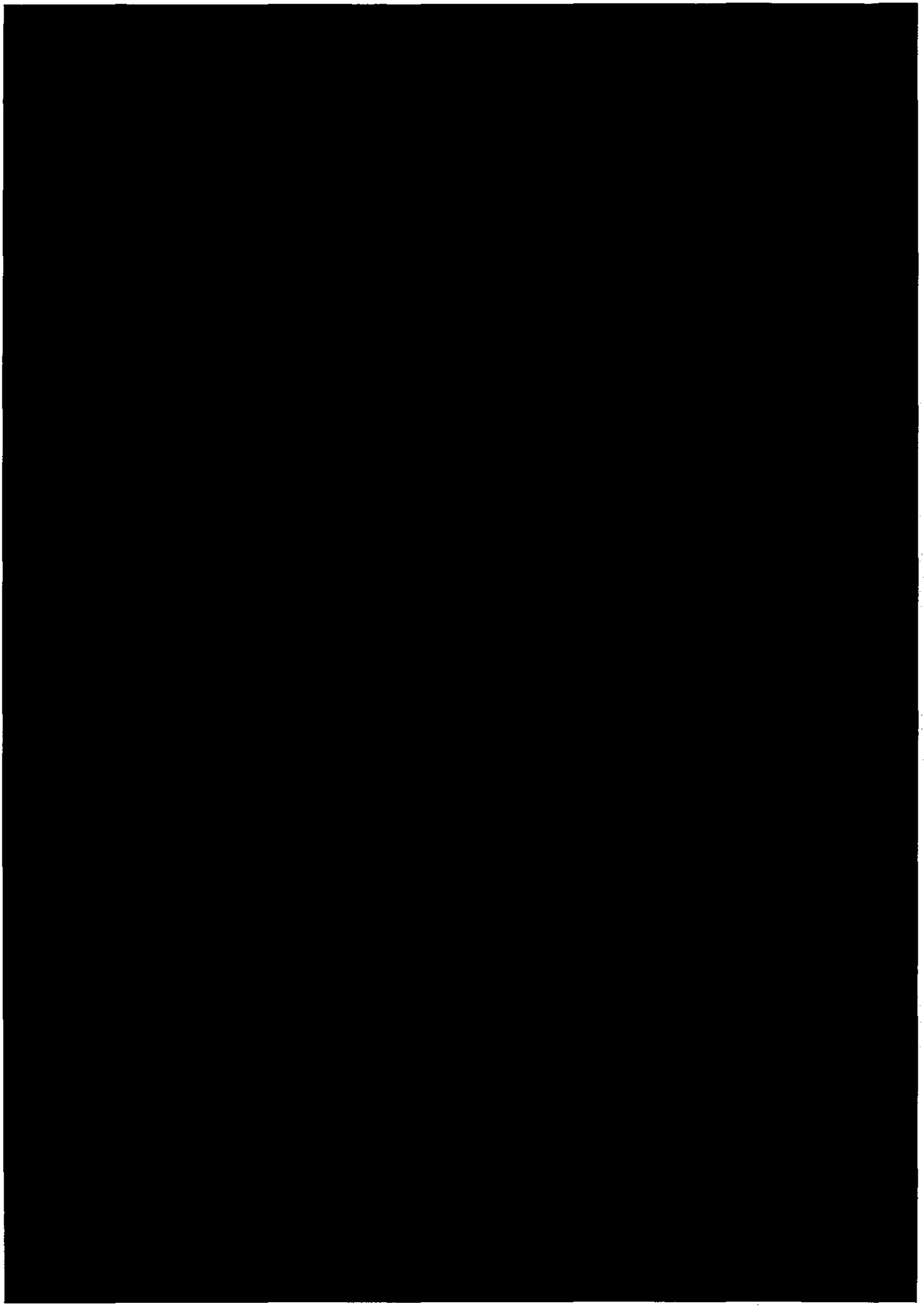
資料 6

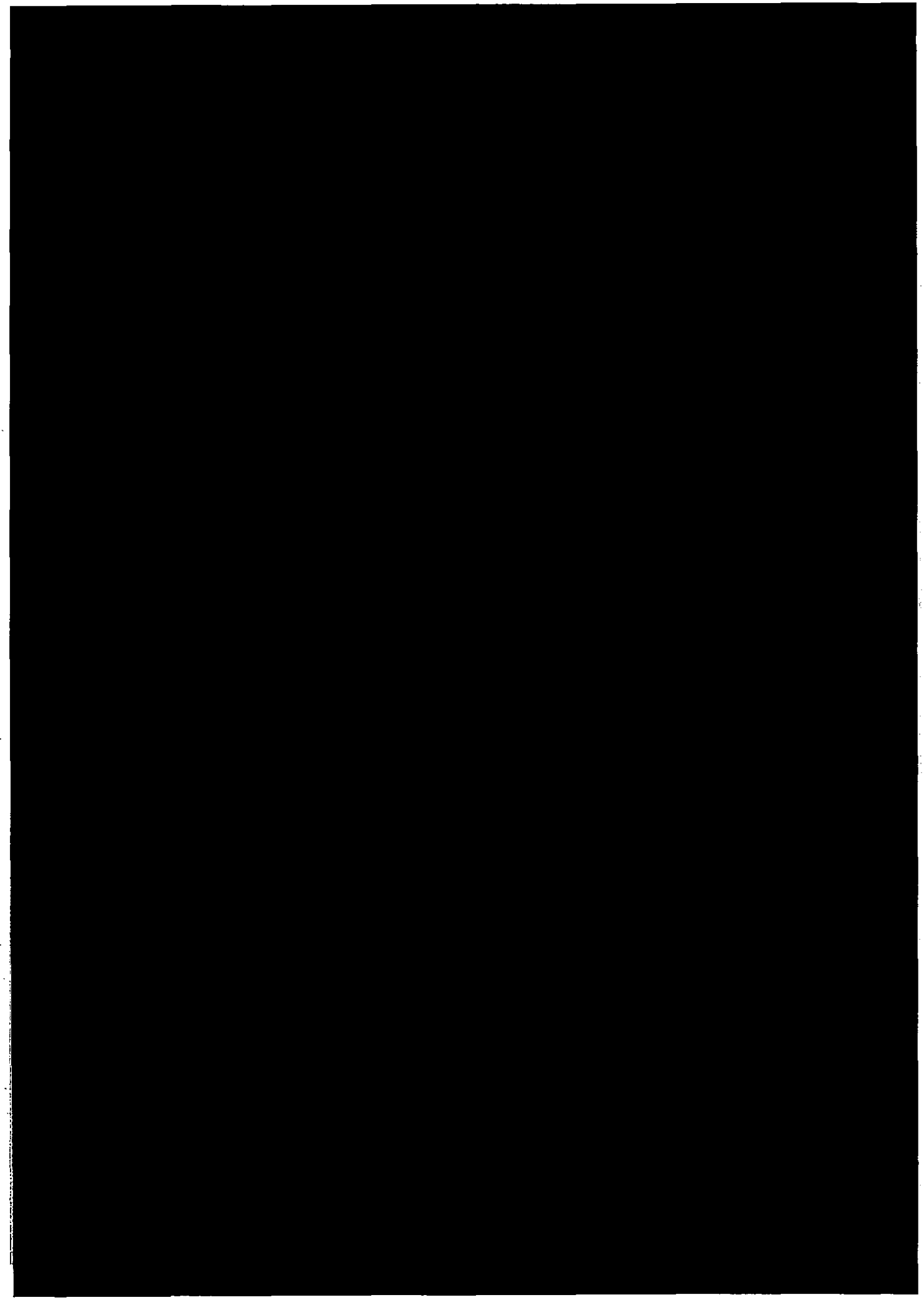
書面の作成について

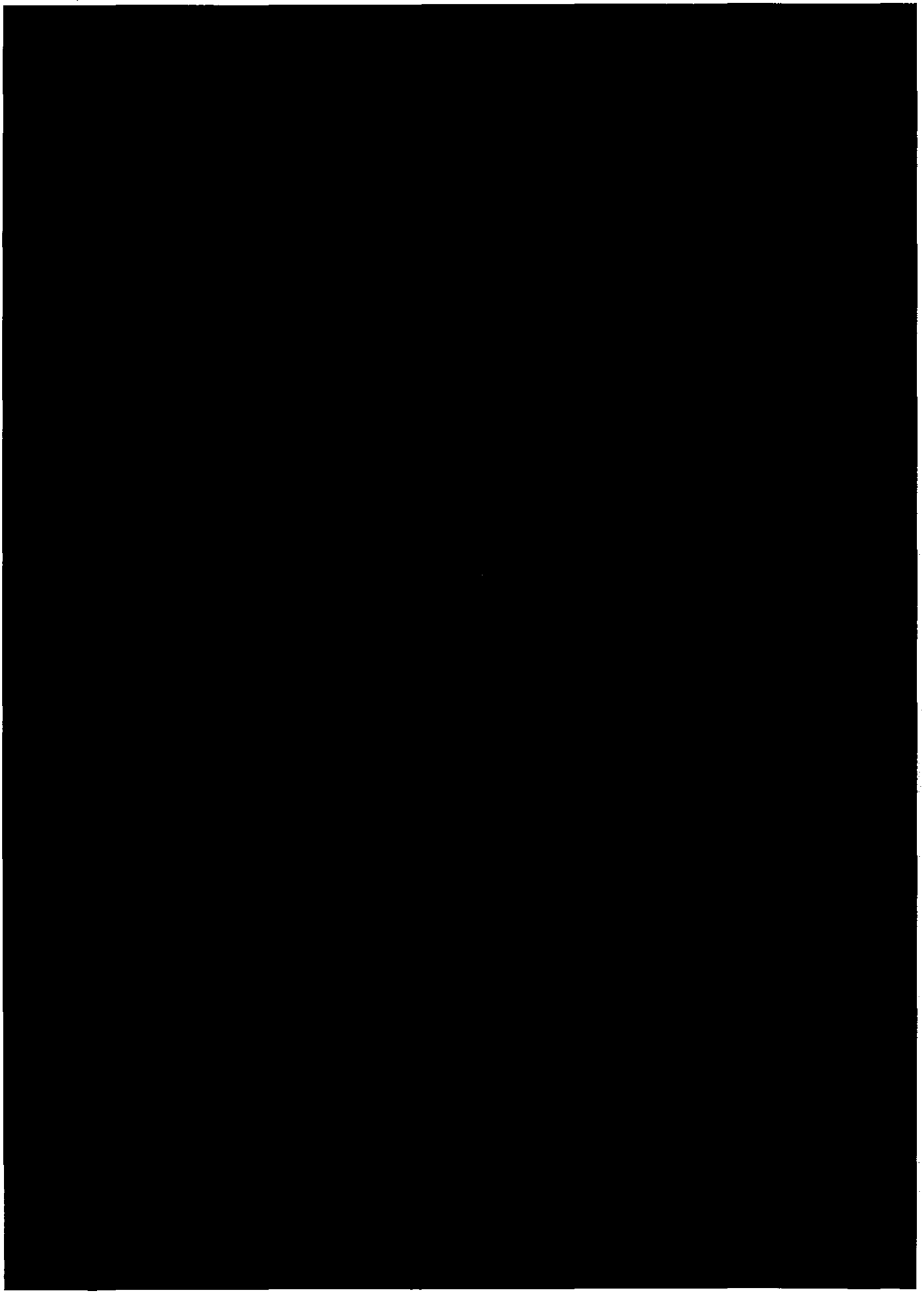


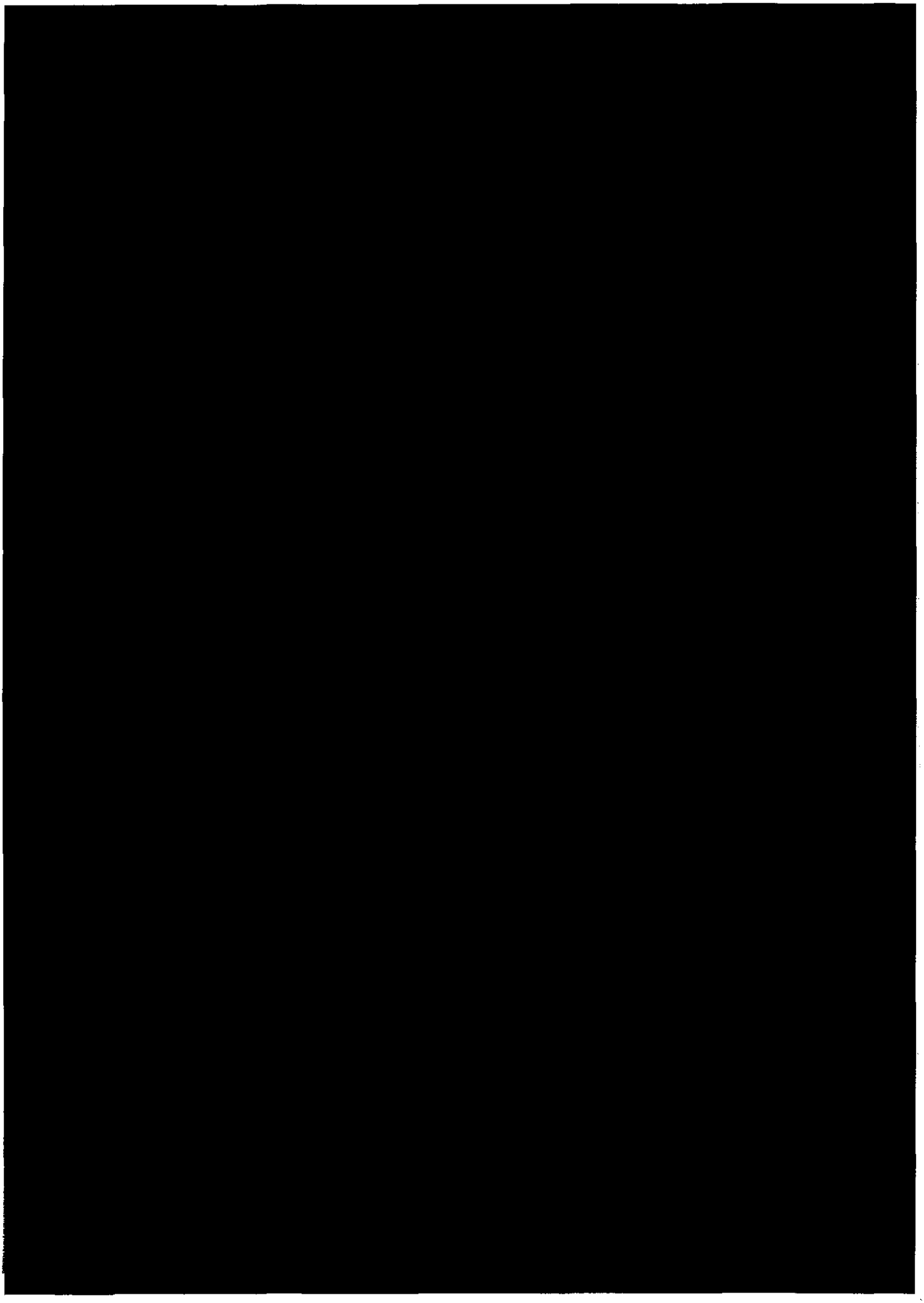


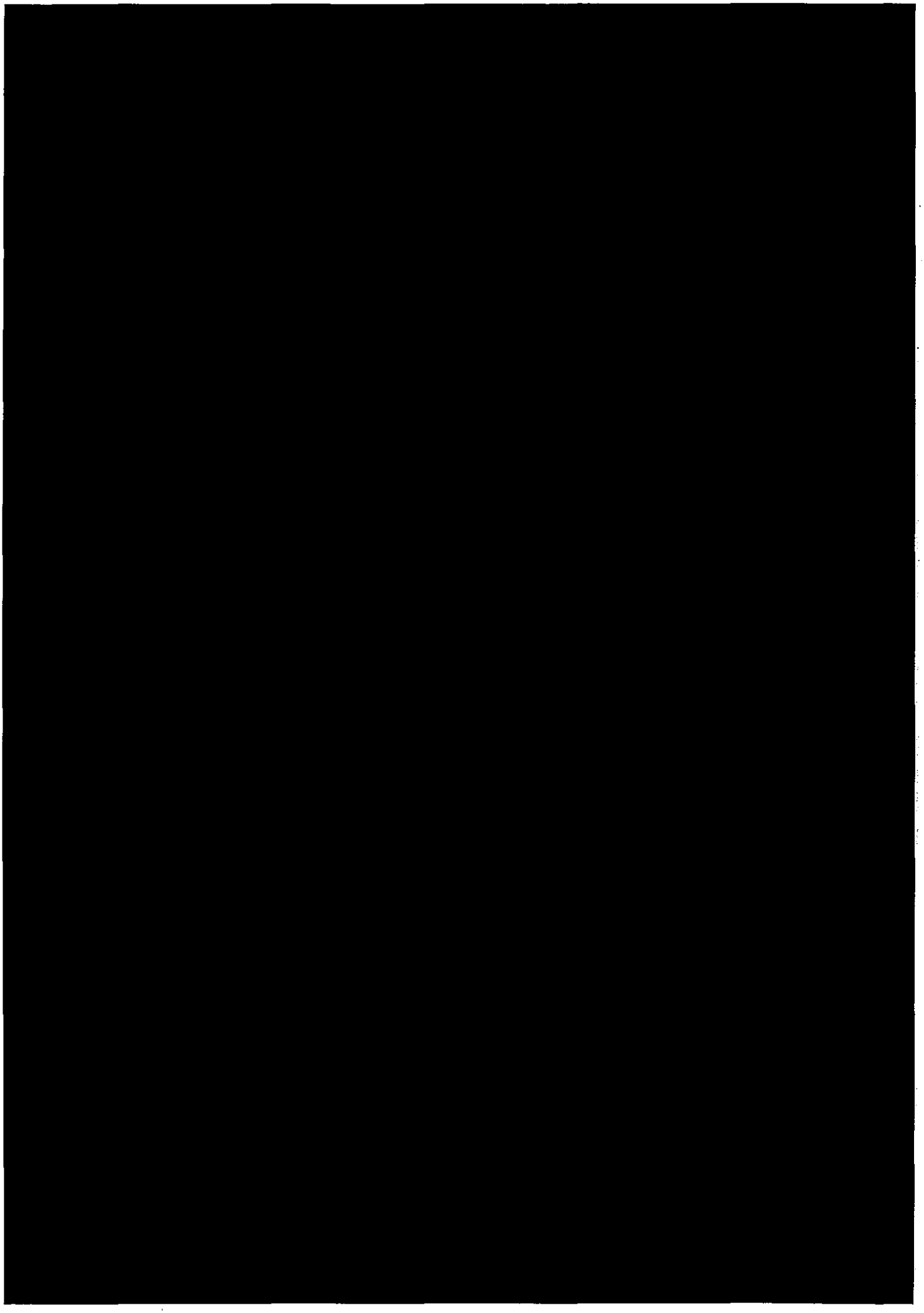


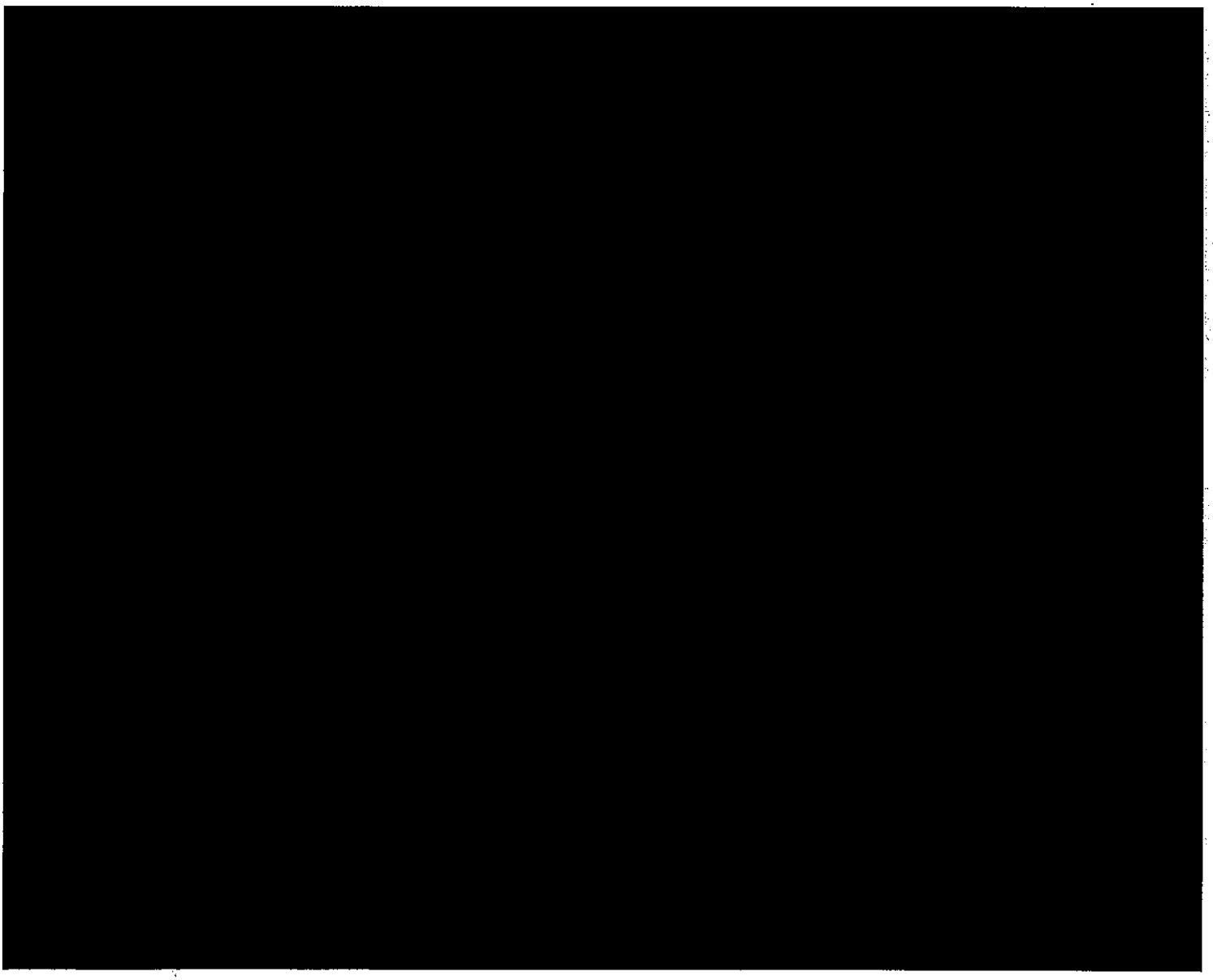












資料 7

訟務担当者ブロック研修　各局訟務処理体制等（北海道・東北ブロック）

平成26年10月末

（ ）内は係属件数

1 訟務処理体制	北海道（11）	青森（1）	岩手（0）	宮城（3）	秋田（1）	山形（1）	福島（1）
①応訴方針検討会議の出席者（役職名、人数）	労災補償課長、労災管理調整官、主任地方労災補償監察官、地方労災補償訟務官2名（主査・サブ）。合計5名。	労災補償課長、管理調整官、労災補償監察官、労災医療監察官（4名）	労働基準部長、労災補償課長、労災管理調整官、労災補償監察官、労災医療監察官　計5名	労災補償課長、労災管理調整官、地方労災補償監察官　合計4名	労災補償課長 労災管理調整官 労災補償監察官（2名） 計4名	労災補償課長・労災管理調整官・労災補償監察官（2名）　4名	労災補償課長及び訟務担当者（労災補償監察官）計2名
②法務局協議における出席者（役職名、人数）	地方労災補償訟務官2名（主査・サブ）、事案によっては労災補償課長も出席。	労災補償課長、管理調整官、労災補償監察官、労災医療監察官　4名	労災補償課長　労災補償監察官　労災医療監察官 3名	労災補償課長、地方労災補償監察官　合計3名	労災補償課長 労災補償監察官（2名） 計3名	労災補償課長・労災管理調整官・労災補償監察官（2名）　4名	労災補償課長及び訟務担当者（労災補償監察官）計2名。地元裁判所担当事件の場合は監察官全員。
2 訴訟追行体制							
①期日への出廷者（役職名、人数）	地方労災補償訟務官2名（主査・サブ）	労災補償課長、管理調整官、労災補償監察官、労災医療監察官　4名	労災補償課長　事件担当監察官　計2名	労災補償課長、地方労災補償監察官　合計3名	労災補償課長 労災補償監察官（2名） （処分庁）署労災課長 計4名	労災補償課長・労災管理調整官・労災補償監察官（2名）　4名	労災補償課長及び訟務担当者（労災補償監察官）計2名。地元裁判所担当事件の場合は監察官全員。
②進捗状況の把握・管理は、誰がどのように行っているのか。	月初めに、「労災訴訟事件一覧表」を作成し、労災補償課長、労災管理調整官、主任地方労災補償監察官の決裁を仰ぎ、指示を受けている。	全体の進行管理　労災補償課長 連絡調整　管理調整官	労災補償課長が中心となり、把握・管理し労働基準部長に報告する。	労災補償課長が、期日や口頭弁論機会をとらえ、担当監察官より報告をさせ、進行管理している。	担当の労災補償監察官（案件を分担）が法務局との連絡調整を行い、情報や指示事項については、その都度労災補償課長に報告している。	・原告から準備書面等が提出された際には、応訴方針検討会議のメンバーで随時検討を行っている。	担当案件の訟務担当者（労災補償監察官）が、訴訟事案専用ファイルを作成し、そのファイルの先頭頁に経過簿を作成・記載することによって把握・管理している。
3 準備書面案作成							
①法務局に提出するまでの確認（決裁）者	労災補償課長、労災管理調整官、主任地方労災補償監察官、地方労災補償訟務官	原案を基準部長まで確認（決裁）した後、選任弁護士と調整の上、法務局へ提出している。	局長までの決裁としている。	担当監察官→監察官→労災管理調整官→労災補償課長	行政庁案については、担当の労災補償監察官が原案を作成し、課内検討、本省担当訟務官の確認を受けた後、局長決裁を経て法務局に提出している。	局長・労働基準部長・労災補償課長・労災管理調整官・労災補償監察官	訟務担当者→労災補償課長→労働基準部長→労働局長
②準備書面案の作成に当たり、苦慮している点、問題点	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]

資料 7

訟務担当者ブロック研修　各局訟務処理体制等（北海道・東北ブロック）

平成26年10月末

（ ）内は係属件数

4 労災法務専門員	北海道（11）	青森（1）	岩手（0）	宮城（3）	秋田（1）	山形（1）	福島（1）
①労災法務専門員への相談回数（出張相談を含む）（月〇回程度）	[redacted]						
②労災訟務において、どのような場面で活用しているか。（応訴方針検討、準備書面作成への助言、敗訴判決の検討、その他（具体的に））							
5 医学意見書作成を依頼できる医師の確保のために工夫したこと、苦慮したこと							

訟務担当者ブロック研修　協議事項（北海道・東北ブロック）

（青森）労働局	1	議題	専門医等の確保
		提案理由（できるだけ具体的に記入してください。）	医証の作成等を依頼できる専門医の確保について、自局のみでは対応が困難な状況です。 今後の訴訟追行の参考とするため、各局ではどのように専門医の確保を行っているか教示いただきたい。

（宮城）労働局	1	議題	労災法務専門員の活用状況について
		提案理由（できるだけ具体的に記入してください。）	回報時や準備書面提出時には、法務局（訴訟代理人、部付）とのやりとりが中心で、労災法務専門員の活用はしていませんでした。活用方法等について、ご教示お願いします。

（宮城）労働局	2	議題	判例の収集方法について
		提案理由（できるだけ具体的に記入してください。）	参考となる判例等を入手としたいのですが、探し出すのに苦慮しております。収集方法について、ご教示お願いします。